

146 オオマシコ

(スズメ目)

Carpodacus roseus

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北・中部では冬鳥、本州南西部以南は不規則な渡来とされる。兵庫県では主に12-翌4月に記録がある。山地の明るい林の林縁や低木林などで越冬する。木の実や草の実などを採食する。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(西宮市)、豊岡市、(宝塚市)、(三木市)、(養父市)、(丹波市)、朝来市、(宍粟市)、(香美町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
稀に記録される程度である。多い年には、数羽から数10羽の群れが観察されるが、年によって渡来状況に変動がある。最近やや増加傾向にあると考えられているが、生息状況はあまりわかっていないため、要調査とした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主な生息環境である山地の林縁や低木林の保全が重要。